



# 容リ協ニュース

公益財団法人日本容器包装リサイクル協会

The Japan Containers and Packaging Recycling Association



リサイクル探検隊が行く  
牛乳パックリサイクル出前授業 紙すきに挑戦!



## 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした 持続可能な資源循環の方向性を探る

東京都や事業者の方々にお集まりいただき、2020年東京オリンピック・パラリンピックを  
きっかけに、将来の資源循環についてのご意見をうかがいました。

特集 2-7

東京オリンピック・パラリンピックを契機とした  
持続可能な資源循環の方向性を探る

東京都 PETボトルリサイクル推進協議会

イオン株式会社 持続可能な社会をつくる元気ネット

3Rの広場 8-9

印刷テクノロジーで  
環境に優しいパッケージづくりへ

凸版印刷  
株式会社

容り法のイロハ 10-11

特定事業者が支払う  
実施委託料と抛棄委託料って、何ですか？

トピックス・容り協日誌 12-15

- 29年度の再商品化委託申込みが始まります
- 容器包装リサイクル制度の施行状況の評価・検討に関する報告書まとまる
- ファンケルグループ社内研修会での講演
- JICA研修会での講演
- 容り協日誌／編集後記

リサイクル探検隊が行く 第25回 16

パック6枚＝  
1ロール!?の巻

全国牛乳パックの  
再利用を考える連絡会 + 全国牛乳容器  
環境協議会

No. 73 2016年 11月発行

協会ホームページへは

リサイクル協会

検索

<http://www.jcpra.or.jp/>

本誌「容り協ニュース」バックナンバーをご覧いただけます

もご利用ください



特集

座談会

# 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした 持続可能な資源循環の方向性を探る

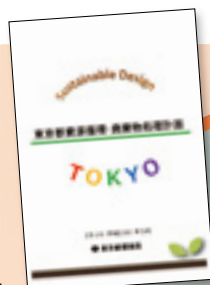
リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックが終了してはや数か月。

2020年東京大会まで、ついに4年を切りました。

東京大会では、サステナビリティをテーマに、それを実現するための様々な取り組みを行なうべく、東京都を中心としてすでに検討が始まっています。

そこで今回の特集では、東京都のご担当者に加えてロンドン大会などの事例に詳しいNPOの方、日頃から3Rに取り組むリサイクル団体の方、市民や消費者と接点の多い小売業の方にお集まりいただき、それぞれの立場から2020年東京大会が目指すべき資源循環の方向性についてご意見を伺いました。

東京都資源循環・  
廃棄物処理計画



東京都 環境局 資源循環推進部

専門課長 古澤 康夫さん



特別な環境配慮であることを  
伝える認証マーク  
MSC認証(左) ASC認証(右)



NPO法人  
持続可能な社会をつくる元気ネット  
事務局長 鬼沢 良子さん



「フードロス・  
チャレンジ・フェス」

イオン株式会社  
グループ環境・社会貢献部  
部長 金丸 治子さん



ロンドン視察報告書

PETボトルリサイクル推進協議会  
専務理事 宮澤 哲夫さん



PETボトル  
再利用品カタログ

## 2020年東京大会を 持続可能な社会づくりの 第一歩に

**鬼 沢** 座談会の進行を務めさせていただく「NPO法人 持続可能な社会をつくる元気ネット」の鬼沢です。2020年東京大会の開催は、その後の資源循環、持続可能な社会の創造にとって、とても良い契機になると思います。まずは東京都が現在進めている資源循環政策の概略について、資源循環推進部の古澤さんから話していただけませんか。

**古 澤** 2020年に向けて今、環境政策に関するどんな検討がなされているのか、その目指す方向性についてお話しさせていただきます。大会の準備は東京都とJOCが設立した「組織委員会」が中心的に担い、パートナー企業、東京都内に限らない多くの市区町村、NGOの皆さんの協力を得ながら行なっています。組織委員会では現在、「持続可能な大会に向けた運営計画」についての検討を進めているところです。その名称からもわかるとおり、運営計画の作成に当たってはサステナビリティが重要なテーマとなっています。持続可能性のある社会に向けてどういう一歩を進めていくか。さらには、どういうレガシー（開催を契機として社会に生み出される持続的な効果）を残していくかも検討課題のひとつです。

**鬼 沢** 持続可能な大会に向けた運営計画の中で、容器包装に関して現在進められているプランがあれば教えてください。

**古 澤** 容器包装をいかに減らしていくかは、大きな議論になるところかと思います。大きな方針として、3Rを推進していくことは当然あるでしょう。ただ、大会運営の詳細がこれから決まるという段階ですので、具体的な施策というはまだこれからという状況です。

**鬼 沢** 組織委員会には、様々な組織からいろいろな提案がすでに出されているようです。

ね。あるNGOからは、リユースカップを会場内で使ったかどうかという提案があったと聞いています。

**古 澤** リユースカップについては、考慮すべき重要な取り組みだと考えています。今年、フランスで行なわれたサッカーの国際大会「ユーロ2016」でも、リユースカップが使用されたそうです。しかし、オリンピックは想像以上に大規模なイベントだと聞いていますので、どういう条件が整えばそれが可能なのか、これからの検討課題だと考えています。

## 2020年東京大会を通じて どんなレガシーを残すべきか

**鬼 沢** それではここで、私の方から2012年ロンドン大会でどんなことが行なわれたのかについて、簡単にご紹介させていただきたいと思います。実は、2014年9月に現地を訪問してヒアリングしてきたのですが、ロンドン大会では持続可能な社会形成という大きなテーマのもとに、3Rに基づいた循環政策の実現を掲げたそうです。中でも驚いたのが、開催の5年前にはすでに持続可能な社会を実現するための国内基準をつくったということ。その中で、容器包装のごみを減らすために、調達品に関してその製品にはどういう包装がされていて、それは使用後にリサイクルできるものなのかどうかまで、基準を決めたということでした。東京ではどんなレガシーを開催後に残すことができるのか、今から楽しみにしています。そういえばロンドン大会では、調達基準として持続可能な漁業で獲られた水産物に与えられる海のエコラベル、MSC認証が採用されていました。イオングループさんでは、この認証を受けた水産物をすでに取り扱われていますよね。

**金 丸** 海のエコラベルについては、2006年頃から取り入れていまして、まさに今、拡大しようとしているところです。その水産物がどんなふうにも獲られたものなのか、その魚は資源の枯渇の恐れはないのかなど、私たち小売業者も調達に対して説明責任を果たしたいと考えました。そこでMSC認証を受けた水産物の取り扱いを始め、2014年には全社的な方針と

しての持続可能な調達原則を定めています。さらに、責任ある養殖により生産された水産物に与えられるASC認証を受けた商品の取り扱いも開始しています。東京大会でも持続可能性に配慮した調達基準が採用されれば、私たちがこれまで取り組んできたことが活かされる機会もあるのではと期待しています。

鬼 沢

イオングループさんでは、東京都とともに食品ロス削減に関するキャンペーンにも取り組まれているそうですね。オリンピックの選手村では24時間食事を提供しなければならず、大量の食品ロスが発生するはず。そうした面でも、イオングループさんのノウハウが活かされることがあるかもしれませんね。

## 世界中の人にわかりやすい 分別方法を検討

鬼 沢

オリンピックともなると、世界中から訪れる観光客の出すごみの対策も重要になってきますね。日本国内でさえ分別の仕方は地域によって異なりますし、世界に目を向ければその違いはなおさらです。分別の仕方の情報をいかに届けるかが課題になると思うのですが、東京都ではどんな対策を考えているのでしょうか。

NPO

鬼沢良子さん



日本の良さを活かして  
ロンドン大会を超える  
持続可能な  
大会にしたいですね

古 澤

現在、環境省の方で「統一分別ラベル」の検討がなされていて、東京都でもそのプロジェクトに参画しています。それは、ピクトグラムの絵や色などを分別の種類ごとにできるだけ統一化してよりわかりやすくするという試みで、昨年度から検討が進められています。また、ロンドン大会が開催されたイギリスでは、広範囲で共通マークが使用されていると聞いています。そうした事例も参考にしながら議論を詰めていければと思っています。現在、都内のオフィスビルや商業ビルでは、それぞれ分別の仕方が違うことも珍しくありませんが、東京大会を機に、よりわかりやすい分別になる、あるいはできるだけ合理的な分別方法で統一され、レガシーという形で残していければ大変素晴らしいのかなと考えています。

鬼 沢

そうですね。昨年、ミラノ万博に行ってきたのですが、会場内のごみ箱を色で分けていましたね。世界中からたくさんの方が来たときには、色で分別の種類を分けるというのがわりとわかりやすい方法なのではないのかなと思いました。

古 澤

イギリスの場合、プラスチック系は赤、紙系は青で、それぞれピクトグラムによりさらに細かく分類されているという方式がとられています。

鬼 沢

日本の場合はどうなるか、今から楽しみです。

## PETボトルのリサイクルが 再生品へのイメージアップに貢献

鬼 沢

PETボトルは、世界的に見ても、指定された場所で回収されていると思います。ただ、開催される時期が夏ということもあって、大会中はものすごい量のPETボトルが資源として出ると予想されるのですが、PETボトル協議会の方では2020年に向けて何か計画されていることはありますか。

宮 澤

皆さんご存じのように、PETボトルというのはプラスチック製容器包装などと比べ

て分別が非常にわかりやすい容器です。1995年から、消費者に使用済みPETボトルのリサイクル品を積極的に選んでもらえるよう、当協議会が認定したPETボトルリサイクル推奨マークを付けるようになりました。この認定基準はかなり厳しいものだと自負しています。実はオリンピックの組織委員会が調達行動について定めた試案で語られている4原則をあらためて確認したところ、本マークの認定基準とぴったり符合することに気づきました。その4原則では、1.どのように供給されているか、2.どこから調達して何の原料が使われているか、3. サプライチェーン、4. 資源の有効活用という点をそれぞれ重視することが語られています。例えば、トレーサビリティでいえば、私どもの認定基準では一般の家庭で一度使われたものを原材料として25%以上含むことを前提としていますので、その材料の調達先や製造におけるすべての工程で何が使われているかまでを追って調べます。そのため、認定されたリサイクル製品は、トレーサビリティが大変確かなものとなっています。そうした面から考えても、東京大会ではPETボトルリサイクル推奨マークが調達においてお役に立てるのではないかと考えています。

鬼 沢

最近、ヨーロッパのサッカーチームでPETボトルの再生繊維によるユニフォームを採用したところがありましたね。

宮 澤

はい。これまでは、リサイクル製品に対する抵抗感を抱く人が多いかと思っていたのですが、サッカーのプロチームの例を見ても、世界的には人々の価値観が「リサイクル製品を利用することはカッコイイ」というように少し変わってきたなどは感じています。ただ、日本ではまだまだで、2016年リオデジャネイロ大会でも再生品を素材としたユニフォームやシューズがTVで散見されたのですが話題にのぼることもありませんでした。東京大会では、そうした情報も人々の間にもっと届くようになれば、それをきっかけとして日本の皆さんのリサイクル製品に対するイメージも変わるのではないかと期待しています。しかも、選手の皆さんの着るユニフォームに、私たちのPETボトルリサイクル推奨マークが付けられ、世界に発信できたら最高でしょうね。ぜひお願いしたいと思います(笑)。

2020年東京大会では、  
PETボトルのリサイクルから  
つくられた日本代表の  
ユニフォームが  
見たいですね

リサイクル団体

宮澤 哲夫さん



環境への配慮が  
特別ではない社会を目指して

鬼 沢

先ほど、PETボトルのリサイクル製品のイメージを高めたいというお話がありました。しかし、その前段階として、そもそも日本人の環境に対する意識は変わったのでしょうか。レジ袋の削減のための有料化など、消費者向けの環境対策に早くから取り組まれたイオングループさんは、その辺りどんな印象をお持ちですか。

金 丸

普段のお買い物の中で、常にエコに関するマークをしっかりと確認して購入するお客さまがどれだけいるかと聞かれれば、あまりポジティブな答えはできないかもしれません。しかし、先ほどお話しさせていただいた「海のエコラベル」の認証を受けた水産物を売り場の一箇所に集めるなどの工夫をし、その意義までもしっかりと説明することにより、興味を持って賛同いただけるお客さまが確実に増えています。さらに高校生や大学生の環境に対する感覚が、私たちの世代と違ってきているのは大きな希望ですね。例えば、電気自動車ひとつとっても、「環境面への配慮から意識的に選択する」というということではなく、「環境に良いものを使うのは当たり前」という感覚を彼らや彼女らは持っていますから。

鬼 沢

それはとてもうれしいお話ですね。当たり前といえば、イオンさんではPETボトル

日本全体の皆さんの  
環境意識をさらに高める  
きっかけになれば  
うれしいですね



小売業  
金丸 治子さん

などの店頭回収を行っていますが、皆さん当然のようにきれいに洗って持ってきてくれると聞きました。

金丸

はい、例えばPETボトルなら、店頭で回収されているものは、キャップをとってラベルを外して、さらに中をきれいに水洗いされたものがほとんど。皆さん、それが特別ではなく当たり前の行動になっているんですね。同様に、海のエコラベルのような認証マークなどは特別な環境配慮であることを伝えるためのものですが、そのマークの基準が普通のことになれば、わざわざシールとして貼る必要もなくなります。若い世代のことを考えると、環境に対する配慮を特別なものとは意識せず、当たり前とらえるような時代が案外早く到来するかもしれませんね。

オールジャパンの  
知恵を結集し、  
次代の資源循環を世界へ発信

古澤

そのためにも、2020年東京大会を見据えて、東京の資源循環のレベルを上げていかなければなりません。そこで大切になるのが、民間やNGOの方々との様々な場面での連携だと考えています。リユースカップやごみの分別用ラベルにしても、大会期間中だけで利用が終了してしまっただけでは意味がなく、大会後にもどうやって3Rを社会に広めていく

のか。私どもでは、ごみの処理技術や関連する法律の作成などに関してはもちろん詳しいものの、それを事業者や消費者による実践につなげていかないと意味がありません。

そのため、イオンさんがこれまで取り組んでこられたようなエコ認証の商品を広く消費者に受け入れてもらうとか、店頭での回収など、様々な取り組みで得た具体的なノウハウや知恵をお借りしたいと思っています。

鬼沢

今までできていなかった連携を大会の準備をきっかけに深め、その結果として2020年を超えて持続可能な資源循環の仕組みを継続していけるようになったら素晴らしいですね。それには、どんなに東京都だけが頑張っても単独では不可能で、産業界やNGOなども含めてお互いにいろいろな知恵や技術などを持ち寄ってはじめて上手くいくのではないかと思います。そういう意味で一歩前進したと思われる事例があります。東京大会における木材の調達については、すでに存在する複数の認証制度を利用するということが東京都からの働きかけにより早い段階で決まったそうですね。

古澤

持続可能な調達において、木材の調達は大変重要な分野だと思っています。日本の場合は木材調達についていくつもの課題があるのですが、例えば建築物を造るときコンクリート用型枠の合板が違法伐採のリスクの高いものが多くあるということもそのひとつ。そこで、昨年鹿島建設さんなどと共同のモデル事業で国産のコンクリート用型枠を使っての施工を実際に行なってもらいました。

金丸

木材の調達方針でいえば、イオングループでも事業に使用する木材関連資材や商品の調達方針策定を進めているところです。東京大会における木材の調達行動の方針が出て、製紙メーカーさんなどがそのための準備を始めているなんて話も聞きます。そうした木材調達が行なわれれば、その後産業界でも同様の調達方針を立てる企業が多く出てくるといったレガシーを残すことにつながるのではないのでしょうか。

鬼 沢

加えて、なぜそうした調達をする必要があるのか、認証マークの付いた製品を利用すべき理由まで消費者に伝わるような情報発信が行なわれ、それらの知識が広く消費者の共通認識になるまでいけたら理想ですね。情報発信というところでいうと、PETボトル協議会さんでは、使用済みPETボトルから造られたリサイクル製品を紹介するカタログの中で、PETボトルのリサイクルが社会にとってどんな意味があるのかなど、いろいろなことについて伝える努力を続けていますよね。

宮 澤

PETボトルリサイクル推奨マークの認証を始めた1995年からカタログを発行しています。マークが付いている製品はまだまだその数は少ないのですが、オリンピック開催後のレガシーとして、PETボトルのリサイクルもますます前進するだろうと思っています。皆さんのいろいろなお話を聞いて、そのことを確信できたのは今日の収穫ですね。

鬼 沢

今日の座談会を通じて、2020年東京大会をどんな大会にしていくべきなのかというイメージが皆さんの中にも膨らんだのではないのでしょうか。それでは最後に、東京大会に向けた抱負を今日の感想も含めて伺いたいと思います。

金 丸

イオングループでは、2020年に向けた取り組みとして10の強化項目を定めています。その中で、廃棄物ゼロへの取り組みというのがありまして、3Rの手法を活用してまずは排出するごみを減らし、発生した廃棄物については100%リユースあるいはリサイクルするというものです。私たちの扱う商品や店舗でできることには限りがあります。東京大会はなにも東京だけのものではありませんので、行政や地域のいろいろな事業者と連携しつつ、日本全国の皆さまの協力も仰ぎながら、いっしょに進めていきたいと考えています。

古 澤

1964年東京大会で、東京のごみ処理は現在のような衛生的なものへと変わりました。それでは、2020年には次の時代にどんなレガシーが残せるのか。それは、3Rの定着により資源を持続的に使っていく社会ではないでしょうか。実現するには、私たち行政だけでは到底不可能なことは明白

2020年を見据えて東京の  
資源循環のレベルを上げるべく、  
事業者やNGOの方々との連携を  
深めていきたいと  
考えています

東京都

古澤 康夫さん



ですので、今後ともぜひ皆さまのご協力をお願いしたいと思っています。

宮 澤

日本のリサイクル制度というのは非常に分別が丁寧で、世界的に見るとガラパゴス化している面もあるのですが、これはこれで大切にしなければならない私たちの文化ではないのかなと思います。そのため東京大会では、持続可能な社会に向けた取り組みを日本ならではのやり方で行った結果、どのくらいの環境負荷を減らせたのかといった成果を具体的に調べて世界に発信するべきだと考えています。PETボトルに関しては、そうした計算をしっかりと、分別は日本の素晴らしい文化のひとつであることを訴求したいですね。

鬼 沢

なるほど、分別を日本の素晴らしい文化のひとつとして発信するというのはとても素晴らしい考えだと思います。2020年東京大会を契機に行政、事業者、市民による様々な場面での連携が実現できるといいですね。それでは皆さん、今日はありがとうございました。



# 印刷テクノロジーで 環境に優しいパッケージづくりへ

凸版印刷株式会社は、出版・商業印刷はもとより、証券やカード、ディスプレイや半導体、建装材など多様な事業領域を手がける企業です。中でも、パッケージの製造・販売は創業以来携わってきた仕事で、その歴史はなんと100年以上。日本を代表する印刷会社にして包装材メーカーでもある同社の、環境配慮型パッケージ開発に対する考え方やその代表的な製品についてお聞きしました。



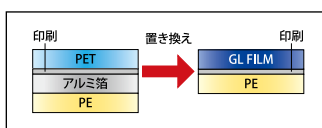
生活・産業事業本部  
事業戦略本部 営業企画部 環境ビジネスチーム  
山田久子課長(左)、川田靖部長(右)

## 高度な印刷技術を包装材開発に活用

凸版印刷では、長年にわたり培ってきた印刷技術をベースとした表面加工技術において、非常に高度なレベルのテクノロジーを有しています。同社では、この技術をパッケージ事業でも活用し、食品や飲料、トイレタリー、医療といった幅広い分野にて、プラスチック、紙、段ボール、複合素材などによる多種多様な包装材を開発しています。

近年、同社が手がけた包装材開発の代表格といえば、独自のコーティング技術や蒸着加工技術をもとに生み出した透明バリアフィルム「GL FILM」が挙げられるでしょう。環境を切り口とした包装材開発の提案を業務とする環境ビジネスチーム所属の川田靖さんによると、GL FILMは包装材として有効な特長を数多く備えているといいます。

「その一つめが、水蒸気や酸素などのガス透過をアルミ箔と同様に防ぐ機能です。GL FILMを包装材に使用することで、酸化・吸湿などの各種劣化から製品を守り、保存期間をより長くすることが可能になります。二つめは、地球環境に配慮した点です。旧来使われてきたアルミ箔をGL FILMに



GL FILMによる減量化

置き換え、アルミレス化することで包装材の構成の合理化による減量は大きなメリットです」(川田さん)

GL FILMが使用されている包装材には、1996年に開発されたカートカンがあります。カートカンとは、円筒形の紙製飲料容器で、その内面にバリア性に優れたGL FILMが貼り合わされているため、紙を主原料としながら常温流通での長期保存が行なえます。そのうえ、牛乳パックと同様に、リサイクルすることも可能なのです。

その他にも、お酒用の紙パックやラミネートチューブなど、GL FILMは様々な包装材の材料として幅広く活用されています。現在、食品や医薬品など向けに、国内はもとより約45の国と地域、約15,000点の商品に採用され、透明バリアフィルム市場における世界トップシェア製品となっています。

## 4Rを指針に

### 環境配慮型の包装材開発を推進

「凸版印刷のパッケージ事業では、リデュース、リユース、リサイクルに“リプレース”を加えた“4R”を環境配慮指針として包装材開発を推進しています」と話す



のは、環境ビジネスチームの山田久子さんです。リプレイスとは、包装材を缶やびんからパウチに変更するなど、より環境負荷の小さい製品形態に置き換えることです。また、4Rに加え、その製品形態に使用する原材料にまでさかのぼって環境への配慮を行なうことに取り組んでいます。凸版印刷のパッケージ事業では、持続可能な資源であるバイオマスプラスチックやリサイクル材料の有効活用を進めています。

「1991年からバイオマスプラスチックを使用した包装材の開発に取り組み、先進の加工技術で40ミクロン以下の薄さにまで加工できる包装材を完成させました。現在では、バイオマスポリエチレンを用いた食品や医薬品向けラミネート包装材や紙カップ、ヘアケア商品などの詰め替えスタンディングパウチなど、様々な製品の実用化に成功しています」(山田さん)

また、使用済みPETボトルをリサイクルして得た再生樹脂によるメカニカルリサイクルPETフィルムを、2012年に再生事業者とフィルムメーカーとの協働で開発。再生樹脂を世界最高レベルの80%使用したこのフィルムを使用することで、一般PETフィルムに比べてフィルム製造段階までのCO<sub>2</sub>排出量を約24%削減可能になります。さらに、メカニカルリサイクルPETフィルムは現在、GL FILMへの使用も実用化。再生PETフィルムによる透明バリアフィルムの開発は、世界初の成功例となっています。

持続可能な材料についてはもう一つ、間伐材の活用にも注力しています。前述したカートカンは、じつは間伐材を含む国産材を用紙の原材料として利用した紙製容器です。間伐材を含む国産材を30%以上利用することで、CO<sub>2</sub>吸収効率の高い健全な森を育て、ひいては地球温暖化の防止に貢献しています。

## 環境対応の仕組みづくりで 顧客の社会貢献をサポート

凸版印刷のパッケージ事業は、環境配慮製品を製造するだけにとどまりません。持続型社会を実現



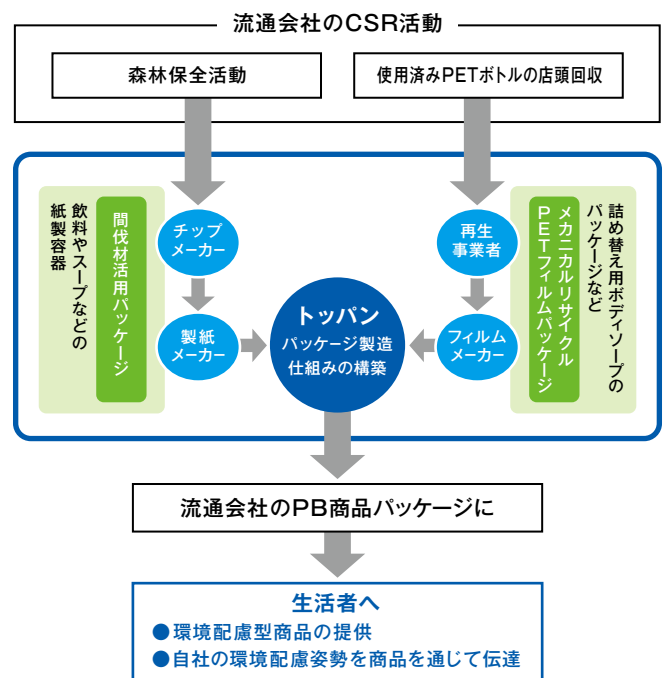
するための仕組みづくりにまで、事業領域を広げようとしています。

その端緒となったのが、大手流通企業が開始した自社で森林を育て国産材の利用を促進するプロジェクトです。

「流通大手のお客さまの森林から伐採した間伐材を、自社で販売する製品に使う紙製容器の原材料として活用できないものかとの相談を受けました。そこで当社では、製紙メーカーと協働したトレーサビリティ管理のもと、木材チップの加工から製紙、包装材生産にいたるまでトータルに管理し、間伐材マークの認証取得に対応した特定の森からの間伐材利用の仕組みを構築しました」(川田さん)

さらに、店頭で回収された使用済みPETボトルをメカニカルリサイクルPETフィルムとして再生。お客さまのプライベートブランド製品のパッケージに使用する取り組みも行なっています。

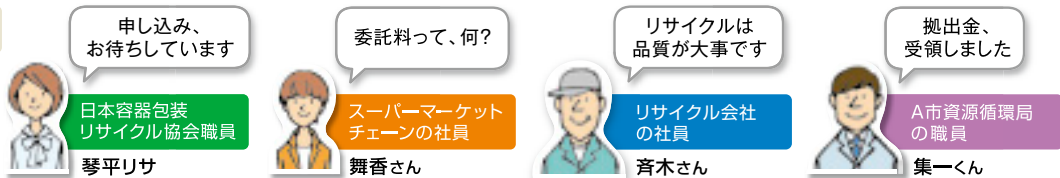
今後は、環境対応の新たな仕組みづくりにも挑戦し、お客さまと社会の課題解決によりいっそう貢献していきたいと語る川田さん。凸版印刷はこれからも、包装材の環境特性を進化させる企業であり続けることでしょう。



# 特定事業者が支払う 実施委託料と 抛出委託料 って、何ですか？

12月、容器包装に関わる事業者の皆さまに、容り協から「委託申込み」の書類が届きます。委託料には2つあり、それぞれについてご説明します。

## 登場人物紹介



## 容り協は、 リサイクル義務を代行する機関

**リサ** 容器や包装に商品を入れて販売している会社、容器をつくっている会社は、「容り法」という法律で、リサイクルをすることが義務づけられています。

**リサ** うちの会社はスーパーマーケットですが、商品を入れるレジ袋などは、リサイクルしなくてはいけないんですね。

**リサ** そうです。舞香さんの会社のように、リサイクル義務のある会社を、容り法では「特定事業者」と呼んでいます。

**リサ** でも、お客さんに渡したレジ袋を返してもらうわけにはいかないし、もし戻ってきて、うちの会社ではリサイクルできないわ。

**リサ** 特定事業者の多くは、自らリサイクルすることはできませんね。そこで、**リサイクルを代行する機関である容り協にリサイクルを委託することで、事業者としての義務を果たすことができます。**

**リサ** 容り協には、リサイクル工場があるのですか？

**リサ** いいえ。容り協の役割は、リサイクルの環をつなぐことなので、実際にリサイクルをしているわけではありません。

**リサ** そういえば、容り協から会社に書類が届いていたわ。

**リサ** 「再商品化委託申込み」の書類をご覧いただきながら、ご説明しましょう。

## 実施委託料 は リサイクルの実施に係わる 費用です

**リサ** お支払いいただく委託料は、「再商品化実施委託料」と「抛出委託料」の2つ。

**リサ** えっ？「委託料」って、2つあるの？


**リサ** **リサイクルの実施に係わる費用が「再商品化実施委託料」です。**

**リサ** スーパーでお客さんに渡したレジ袋を、リサイクルするための費用ってことですか？


**リサ** ぼくたちにも答えさせてください。ぼくはA市で、収集を担当しています。市民の皆さんが家に持ち帰ったレジ袋は、ぼくたち市町村が集めリサイクル会社に引渡します。

特定事業者が支払う2つの委託料




 私のリサイクル会社では、市町村からレジ袋などの資源ごみを引き取って、次の製品の原材料になるように加工します。

**リサ** リサイクルに係わる費用を特定事業者から預かり、そのお金をリサイクル会社へ支払う。そうした橋渡しをするのが容リ協です。


 リサイクルの環をつなぐ役割というのは、そういうことなのね。

## 抛出委託料 は 合理化拠出金の原資として 使われます


**リサ** もう一つの委託料は「抛出委託料」です。リサイクルの合理化ができた分を特定事業者と市町村が分け合うというものです。

 合理化できた分を分け合うって、意味がわかりません。

**リサ** 市町村から引渡されたものの汚れや異物の度合いが一定基準をクリアしていた、あるいは想定よりも安くリサイクルできた。こうした貢献のあった市町村に支払われるのが「合理化拠出金」で、その原資となるのが「抛出委託料」です。

 どの市町村にも毎年払うのですか？

**リサ** いいえ、過去1年の実績を評価して選びます。昨年度は、集一さんのA市にもお支払いしました。

 ありがとうございます。きちんと分別しリサイクルに適した状態にするために、収集方法や設備を工夫したり、市民への啓発もとても大事です。

リサイクルにかかる  
費用の支払い

再商品化事業者

リサイクルをする会社

リサイクル費用

合理化拠出金  
質の高いリサイクルへの  
貢献に対する拠出


市町村

分別収集 異物等の除去


でも、お金もかかります。市町村の財政も厳しいなか、合理化拠出金は励みになります。

**リサ** 市町村できれいに分別されてリサイクル会社に引き渡されるとリサイクル費用が削減されますので、特定事業者の実施委託単価を下げるにつながります。特定事業者にとっても具体的なメリットがあるのです。


## 委託申込みの手続きは……

 まずは、29年度の再商品化委託申込みですね。抛出委託料の手続きは、どうするのかしら？


**リサ** 抛出委託料は手続き不要です。前年度の実施委託料の申込量に基づいて、容リ協が金額を算出します。

 請求書は、まとめてくるのでしょうか？

**リサ** 29年6月に、29年度分の実施委託料と28年度分の抛出委託料の請求書を送ります。それぞれ前年度分の精算書も同封されます。

 精算って、どういうことですか？

**リサ** 委託料は予定金額なので、リサイクルに実際にかかった費用を算出して、年度終了後に残ったお金を精算金としてお返しします。

 精算で、お金が戻ってくるのですか？

**リサ** 翌年度の請求と相殺されるので、実際の金銭のやりとりはありません。申込み方法などでわからないことがありましたら、容リ協まで気軽にお問合せください。

特定事業者  
の皆さまへ

## 29年度の再商品化委託申込みは、 28年12月12日～29年2月8日です。

特定事業者(「容器」や「包装」を利用して商品を製造または販売したり、「容器」そのものをつくっている事業者)は、「容器包装リサイクル法(容り法)」に基づき、容器包装(ガラスびん、PETボトル、紙製容器包装、プラスチック製容器包装)のリサイクル(再商品化)が義務づけられています。

容り協は、主務5省(環境省、経済産業省、財務省、厚生労働省、農林水産省)から指定を受け、特定事業者の「再商品化義務の履行」を代行する機関です。特定事業者の皆さまは、容り協に委託料を支払うことで、義務を果たすことができます。

### 容り協ホームページの動画で委託申込手続きを解説しています

容り協ホームページ(トップ▶**特定事業者向け▶容り制度と事業者の役割**)に、「基本編」「実務編」の2つの動画を掲載しています。「基本編:容器包装リサイクル制度と事業者の役割」は、容り法や特定事業者の役割などを説明。「実務編:再商品化委託申込手続きマニュアル」では、申込書の記入方法や請求書の見方などを実務に即して解説しています。いずれもドラマ仕立てでわかりやすい内容になっていますので、ご参考にしてください。(トップ▶**YouTube容り協動画チャンネル**)からもご覧いただくことができます。



### 申込みに向けた第一歩!「帳簿作成ガイドライン」をご活用ください

特定事業者の皆さまが、再商品化委託申込手続きをより効率的かつ正確に行なうことができるように、手順や注意事項などを解説した「帳簿作成ガイドライン」が、容り協ホームページ(トップ▶**特定事業者向け▶帳簿作成ガイドライン**)でご覧いただけます。どうぞご活用ください。



わからないことや知りたいことは、こちらまで、どうぞ!

申込み手続きに関するお問合せは…

協会オペレーションセンター  
TEL. 03-5610-6261

法律の内容、仕組みに関するお問合せは…

協会コールセンター  
TEL. 03-5251-4870

## 「容器包装リサイクル制度説明会・個別相談会」に、ご参加ください



容リ協では、平成28年11月から29年1月にかけて「容器包装リサイクル制度説明会・個別相談会」を全国19か所21回、開催します。29年度再商品化委託申込み受付業務を行なっている各地の商工会議所と共催で、容器包装リサイクル制度の基礎知識をはじめ、リサイクル義務を果たすための事務手続きなどについて当協会担当者が説明いたします。説明会終了後には、希望される事業者を対象に個別相談会も行ないます。開催時間などの詳細については、容リ協ホームページ([トップ▶News & Topics](#))をご覧ください。



制度説明会の風景

また、参加申込みや会場についてのお問合せは、下記一覧から各開催地の商工会議所までどうぞ。商工会議所・商工会の会員・非会員は問いませんので、ご関係の皆さまには奮ってご参加ください。

開催地	日時(個別相談会含む)	会場名	問合せ先電話番号
札幌商工会議所	28年12月20日(火) 13:30~16:00	北海道経済センター 8階 Bホール	011-231-1373
仙台商工会議所	29年1月26日(木) 13:30~16:00	仙台商工会議所ビル 7階 中会議室	022-265-8185
秋田商工会議所	28年11月10日(木) 13:30~16:00	秋田商工会議所 ホール80	018-866-6679
富山商工会議所	29年1月13日(金) 14:00~16:30	富山商工会議所 9階 95号室	076-423-1171
前橋商工会議所	28年11月18日(金) 14:00~16:00	前橋商工会議所 3階 アイビー	027-234-5100
さいたま商工会議所	28年12月14日(水) 13:00~15:30	さいたま商工会議所会館 2階 ホール	048-838-7704
東京商工会議所 ※7、9、16日とも説明内容は同じ。	28年12月7日(水) 14:00~17:00 28年12月9日(金) 14:00~17:00 28年12月16日(金) 14:00~17:00	東京商工会議所 丸の内2丁目ビル 3階会議室(5・6・7)	03-3283-7700
横浜商工会議所	28年11月17日(木) 14:00~16:30	横浜商工会議所 8階 805会議室	045-671-7470
甲府商工会議所	28年12月21日(水) 13:30~16:00	甲府商工会議所 2階 201会議室	055-233-2241
浜松商工会議所	28年12月6日(火) 14:00~16:30	浜松商工会議所 4階 特別会議室	053-452-1114
名古屋商工会議所	28年12月13日(火) 14:00~16:00	名古屋商工会議所 5階 会議室ABC	052-223-6748
福井商工会議所	29年1月24日(火) 13:30~15:30	福井商工会議所 2階 会議室D	0776-33-8252
大阪商工会議所	28年12月20日(火) 14:00~16:30	大阪商工会議所 地下1階 1号会議室	06-6944-6471
神戸商工会議所	29年1月11日(水) 13:30~16:00	神戸商工会議所 3階 会議室	078-303-5806
広島商工会議所	29年1月17日(火) 14:00~16:00	広島商工会議所 1階 101号室	082-222-6651
徳島商工会議所	29年1月24日(火) 13:30~15:30	徳島商工会議所3階 会議室	088-653-3211
福岡商工会議所	29年1月18日(水) 13:30~16:00	福岡商工会議所 4階 401~403会議室	092-441-1114
鹿児島商工会議所	28年11月25日(金) 14:00~16:00	鹿児島商工会議所 4階 アイムホール	099-225-9533
那覇商工会議所	29年1月20日(金) 14:00~16:00	那覇商工会議所 2階 ホール	098-868-3758

※一覧の中にはすでに申し込みを終了した会場もございますので、ご注意ください。

## 容器包装リサイクル制度の施行状況の 評価・検討に関する報告書まとまる

平成25年9月から始まった産業構造審議会  
リサイクルワーキンググループ及び中央環境審  
議会容器包装の3R推進に関する小委員会の  
合同会合は、28年5月31日(第18回)において、  
容器包装リサイクル制度の施行状況の評価・  
検討に関する報告書を取りまとめました。



取りまとめられた様々な課題については、  
次の方法で、検討が進められることになりました。

- ① 国が中心となって有識者・関係者と連携しつつ検討し、検討結果は合同会合等に報告又は必要に応じて合同会合等において検討する
- ② 審議会のサブグループ等で検討し、検討結果は合同会合等に報告する
- ③ 国が中心となって取組を実施する
- ④ 指定法人が中心となって有識者・関係者と連携しつつ検討・実施する  
検討結果は、合同会合等に報告をする
- ⑤ 事業者、消費者、自治体等が中心となって取組を実施する

指定法人が中心となって検討・実施する課題として、  
次のような項目が挙げられました。

- プラスチック製容器包装の入札制度の運用
- 再商品化業務の効率化のための点検及び市町村と連携した消費者に対する普及啓発
- 廃ペットボトルの再商品化業務の効率化
- ペットボトルのケミカルリサイクル手法の優遇措置の廃止 など

当協会では主務省庁と打ち合わせのうえ、今後、有識者・関係者と連携しながら示された課題について、検討を進めていきます。

## ファンケルグループ 社内研修会での講演

平成28年9月21日に開催されたファンケルグループ社内研修会で、容リ協職員が講師を務めて容リ制度に関する説明を行ないました。商品企画をはじめ、研究所の容器開発や生産の各部門からご担当者32名が参加された研修会では、容リ制度の説明と併せて、ファンケルグループの商品を例にそれぞれの容器や包装が容リ法に該当するか否についても解説しました。

当協会では、ご要望に応じて特定事業者向け研修会を実施しておりますので、企画広報部までお気軽にお問い合わせください。



## JICA研修会での講演

平成28年11月4日、JICA関西国際センター主催の研修会において、アジア(スリランカ・ベトナム・バングラデシュ・ラオス・フィリピン)5か国10名を対象に講演を行ないました。これは、アジア各国の廃棄物関係自治体職員の行政能力向上を目的に、廃棄物管理や3R推進など環境啓発に関する研修として実施されたもので、容リ協からは容リ制度について説明しました。



## 容リ協日誌 (平成28年8月～11月)

協会行事	
8月26日～11月7日	商工会・商工会議所研修会(全6回)
9月25日	容リ協創立記念日
28日	情報連絡会議*
10月14日～20日	プラスチック容器・紙容器・PETボトル・ガラスびん事業委員会
24日	総務企画委員会
25日	臨時理事会 情報連絡会議*
11月7日	平成29年度最終登録判定会議
9日～15日	市町村説明会(全5回)

\*主務省庁、全国都市清掃会議、容リ協の3者による情報共有のための定例会議

ホームページ情報開示	
8月2日	平成28年度下期 PETボトル落札結果(速報版)
9月7日	平成27年度合理化拠出金告知
26日	平成27年度市町村別合理化拠出金・一覧表掲載

## 編集後記

今回は<特集>企画の座談会で、2020年東京大会を契機としてどのように持続可能な資源循環の方向性を築いていくかについて、様々なお立場の皆さんから語っていただきました。先月は、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでメダルを獲得した選手たちによるパレードも行なわれて、東京開催もいよいよ4年後に迫ってきました。4年に一度のスポーツの祭典、資源循環を含め日本がどのように変わっていくのか、想像するとわくわくします。

スポーツといえば、広島カーブのセ・リーグ優勝で地元・広島は大盛り上がり。優勝後に帰省したのですが、市内のメイン通りで“それ行けカーブ”がBGMとして流れ、いたるところに赤い垂れ幕があったりと、見事にカーブ色に染まっていました。

2016年もまだ数か月残っていますが、25年ぶりにカーブのセ・リーグ優勝を経験することができ、個人的に思い出に残る年となりました(欲を言えば、来年こそ日本一!)

# リサイクル探検隊が行く

## 第25回 パック6枚 = 1ロール!?! の巻

### 紙パックリサイクルをめぐる6つの数字

**84**  
'84年

山梨県の某主婦が始めた「牛乳パック再利用運動」。これは世界で初のチャレンジだった!

その分別→回収→再資源化システムを確立した唯一の国が、ニッポン。ちょっと誇らしいぞ。

**3**  
3つのアクション

使い終わったら、「洗って」「開いて」「乾かそう」。ほら! ごみが資源に早変わり。

**1**  
オンリー1

1L牛乳パック6枚で「トイレトーパー1巻」に再生できるって、コストバ良すぎ!?

**6**  
パック6枚 = 1ロール

← 全国パック連・平井さん

**\* 全国牛乳パックの再利用を考える連絡会(全国パック連)**

1985年、牛乳パックリサイクルの普及・促進を目的に発足。国内外の調査や講演・シンポジウム・ワークショップ等を主催。現代表は、創始者のご息女である平井成子さん。

**44**  
リサイクル44%

でも、まだまだ半分強(39億枚)のパックが焼却炉行き...これって逆に、伸びシロ?



**\* 全国牛乳容器環境協議会(容環協)**

1992年設立。乳業・容器・再生紙メーカー等140余社が参加。平井さん主宰の「全国パック連」とは2001年よりパートナーシップを組み、3Rシステムの進展に向け奮闘中。

容環協・加藤さん

リサイクルを次の世代に!



**2**  
2つの団体\*

本日の「出前先」は青梅市立・今井小学校の4年生77人。紙すき体験などメニュー盛り沢山。

全国パック連と容環協がタッグを組んで啓発・普及、2007年から全国の小学校で「出前授業」をスタート!!

